



Hewlett Packard
Enterprise

Operations Orchestration

ソフトウェアバージョン: 10.60

WindowsおよびLinuxオペレーティングシステム

システム要件

ドキュメントリリース日: 2016年5月 (英語版)

ソフトウェアリリース日: 2016年5月

ご注意

保証

Hewlett Packard Enterprise製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、Hewlett Packard Enterpriseはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、Hewlett Packard Enterpriseからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© 2005-2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

商標について

Adobe™は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインタフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<https://softwaresupport.hp.com/>

このサイトを利用するには、HP Passportに登録してサインインする必要があります。HP Passport IDに登録するには、HPソフトウェアサポートサイトで **[Register]** をクリックするか、HP Passportログインページで **[Create an Account]** をクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPEの営業担当にお問い合わせください。

目次

ソフトウェア要件	4
ハードウェア要件	7
仮想システム	10
クラウドデプロイメント	11

ソフトウェア要件

CentralおよびRASのソフトウェア要件

Centralアプリケーションでは、専用のデータベーススキーマが必要になります。

サポートされるオペレーティングシステム

OS	バージョン
Microsoft Windows Server	2008 (64ビット)、R2 2008 (64ビット) 2012 (64ビット)、R2 2012 (64ビット)
Oracle Enterprise Linux	6.6
RedHat Enterprise Linux	6.x (64ビット)、7.x (64ビット)*
Ubuntu	14.04.x TLS

注:

- HPE OOIはLinuxのデフォルトインストールにインストールできます。特殊なパッケージは必要ありません。

* RedHat Enterprise Linux 5.x (64ビット) はサポートされません。

サポートされているデータベース

データベース	バージョン
Oracle	12cR1 RAC、12c R1 (通常、非CDB)、11g R2、11g R2 RAC
MySQL	5.5.x、5.6.x*、5.7x
PostgreSQL	9.1.x、9.2.x、9.3.x、9.4x、9.5x
Microsoft SQL Server	R2 2008**、2012**、2014

* MySQL 5.6.20および5.6.21の場合、**innodb_log_file_size**の要件が大幅に増加します。MySQL 5.6.1 - 19の場合、推奨サイズは256Mですが、MySQL 5.6.20 - 21の場合は2GBです。

** すべてのサービスパックがサポートされます。

サポートされるブラウザ

ブラウザ	バージョン
Microsoft Internet Explorer [*]	10.x、11.x
Mozilla FireFox ^{**}	32.x以降 31.x ESR (Extended Support Release) 以降
Google Chrome ^{**}	40.x以降

^{*} 注: Microsoft Internet Explorer 9.xのサポートは終了しました。

^{**} お断り: FirefoxおよびChromeの将来のバージョンは、ブラウザの後方互換性が維持される限りにおいてサポートされると見なされます。

ブラウザの推奨画面解像度: 1280 x 1024または1920 x 1080

その他の要件

要件	バージョン
.NET Framework	Microsoft .NET Framework 4.5またはそれ以降、完全インストール。 RASのインストールにも必要となります。
ポート	Centralサーバーを構成するには使用可能な2つのポート (HTTP用とHTTPS用) が必要です。これらのポートのデフォルト値は8080と8443ですが、インストール中に異なるポートを指定できます。 注: HPE OOがインストールされた後にこれらのポートを変更することもできます。『HPE OOセキュリティおよびハードニングガイド』の「HTTP/HTTPSポートの変更とクローズ」を参照してください。

Studioのソフトウェア要件

サポートされるオペレーティングシステム

OS	バージョン
Microsoft Windows	10、8 (64ビット)、8.1 (64ビット)、7 (64ビット)*
Microsoft Windows Server	2012 (64ビット)、R2 2012 (64ビット)、2008 (64ビット)、R2 2008 (64ビット)

* 注: 32ビット版 Windows 7ではStudioはサポートされていません。

その他の要件

要件	バージョン
.NET Framework	Microsoft .NET Framework 4.5またはそれ以降、完全インストール。 .NETオペレーションのフローのデバッグに必要となります。.NET 4.5がない場合、.NETによるフローやオペレーションはStudioで無効のマークが付けられます。
サービスパック	Microsoft Visual C++ 2010再頒布可能パッケージ (x86)。 これは、Studio SVN統合機能を使用するために必要です。 使用するWindowsのバージョン (Windows x64など)に関わらず、x86プラットフォーム向けのバージョンのダウンロードとインストールが必要です。 http://www.microsoft.com/en-us/download/confirmation.aspx?id=5555
Gitクライアント	Studio Git統合機能を使用するには、Gitクライアントバージョン git-1.9.5-preview20150319 をダウンロードしてインストールする必要があります。 https://github.com/msysgit/msysgit/releases/download/Git-1.9.5-preview20150319/Git-1.9.5-preview20150319.exe

注: Studioの最小画面解像度は1280 x 1024です。

データベースサーバーのシステム要件

データベースサーバーのオペレーティングシステムサポートは、データベースベンダーの推奨事項に従います。

ハードウェア要件

ここで説明するハードウェア要件は、サポートされる最小構成です。

多くの場合は、システムの負荷と使用状況に応じて、より強力なハードウェアが必要です。ときには、スケールアップ(ハードウェアの強化)よりもスケールアウト(ノードの追加)の方が望ましいこともあります。

HPE OO Centralおよびデータベースサーバーのハードウェア要件

これらの要件は、主要なコンポーネント (Centralサーバー、RAS) をユーザーのサイトにインストールするオンプレミスインストールの場合です。

コンポーネント	サーバーごとの要件 (最小)
CPU	3 GHz (シングルプロセッサシステム)、または 2 GHz (マルチプロセッサシステム) データベースサーバー: <ul style="list-style-type: none">データベースベンダーの推奨事項と要件に従いますが、最低でも2 CPUコア Centralサーバー: <ul style="list-style-type: none">最小: 1 CPUコア推奨: 4 CPUコア
メモリ (RAM)	データベースサーバー: <ul style="list-style-type: none">ベンダーの指定に従いますが、最低でも4GB Centralサーバー: <ul style="list-style-type: none">最小: 2GB推奨: 4GB
ハードドライブ空き容量	データベースサーバー: <ul style="list-style-type: none">集中型データベース:<ul style="list-style-type: none">HPE OOデータ用に50GB - そのうち数 GBがHPE OOインストールおよびコンテンツパックのデプロイ用で、残りはHPE OOのオペレーションのデータに使用されます。大規模な使用の場合には、データ保有ポリシーに応じて、100GB以上を割り当てることをお勧めします。 専用データベースサーバー:

	<ul style="list-style-type: none">◦ 80GBのハードドライブ 大規模な使用の場合には、データ保有ポリシーに応じて、140GB以上のハードドライブを割り当てることをお勧めします。
	Centralサーバー: <ul style="list-style-type: none">• 2GB

主要なコンポーネントがクラウドベースの仮想マシンにインストールされるオフプレミスインストールの場合、ハードウェア要件は次のとおりです。

- Central/RAS: クラウドシステムの場合、極めて小さなマシン
- データベース: データベースベンダーの推奨事項と要件に従いますが、小さなマシンも必要
データベースサイズの詳細については、『HPE OOデータベースガイド』を参照してください。

Centralクライアントのハードウェア要件

Central用のWebクライアントマシンは、Webブラウザの最小ハードウェア要件を満たす必要があります。

RASインストールのハードウェア要件

コンポーネント	要件 (最小)
CPU	2 GHz (シングルプロセッサシステムまたはマルチプロセッサシステム) 最小: 1 CPUコア 推奨: 4 CPUコア
メモリ (RAM)	1GB
ハードドライブ空き容量	2GB (同時にインストールするフローとオペレーション用の容量を含む)

各自のマシンにインストールしたHPE OO Studioのハードウェア要件

Studioをインストールするマシンは、Webブラウザの最小ハードウェア要件か、以下のハードウェア要件のいずれか高い方を満たす必要があります。

システム要件
ハードウェア要件

コンポーネント	要件 (最小)
CPU	2 GHz (シングルプロセッサシステムまたはマルチプロセッサシステム) 1 CPUコア
メモリ (RAM)	2GB (Studioの処理に必要なメモリ容量)
ハードドライブ空き容量	4GB (同時にインストールするフローとオペレーション用の容量を含む)

仮想システム

次のハイパーバイザーで動作するゲストシステム上にHPE OOコンポーネントをインストールする場合、そのゲストシステムがこのシステム要件で記載している要件を満たしていれば対応します。

- VMWare ESX Server、バージョン3以上
- Microsoft Hyper-V (サポートされるすべてのWindowsバージョンに対する)

クラウド デプロイメント

HPE Operations Orchestrationは、クラウドコンピューターユニットにインストールできます。HPEクラウド サービスでサーバーコンポーネント (Central、RAS)を使用するには、小さなマシンが必要です。また、データベースは、小さいマシンが必要なことに加えて、データベースベンダーの推奨事項と要件を満たしている必要もあります。

